

緑に関する課題の検討

緑の保全における課題

【農地・山林】

- 農業従事者の高齢化などに伴う担い手不足により耕作放棄地が増加していることから、**担い手の確保や農地の適正な利用による耕作放棄地の解消**が求められます。
- 土地所有者の高齢化などにより管理が行き届かない山林が目立ってきていることから、**持続的な森林環境保全**が求められます。
- グリーンインフラとしての雨水貯留などの防災機能をはじめ、緑陰による温暖化防止や生物多様性など、このような**多様な視点からも農地や山林の適正な維持管理**が求められます。
- 生産緑地については、**引き続き確保できるような対応**が求められます。
- 持続的な取り組みへの理解が醸成され参加者が増えるよう、**自然の緑の大切さを普及啓発**していくことが求められます。

【河川・水辺】

- 河川や印旛沼・手賀沼の環境基準は一部達成されていないことから、**水質に対する意識啓発や、良好な水辺環境の保全**が求められます。

【指定文化財】

- 指定文化財は、周囲の自然環境と歴史的調和によって保全されているため、**周辺の緑地・自然環境と一体的な保全**が求められます。

【開発】

- 開発行為においては、緑豊かな街並みを形成するため、**緑の保全と緑化の推進を誘導**していくことが求められます。

【生物多様性】

- 動植物の生息・生育空間は、土地利用の変化等に伴う緑の減少により徐々に失われつつあり、また、外来種の移入が在来種の生態系を脅かすものとなっています。そのため、**生物多様性の観点からも本市に残る自然豊かな環境の保全に向けた取り組み**が求められます。

緑の創出における課題

【公園】

- 開発行為や土地区画整理事業などにおいて必要とされている都市公園の設置について、**適正な規模・配置となるよう、計画・誘導**していく必要があります。
- 都市公園は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の公園利用者が安全に安心して利用できるよう、**公園施設や樹木などが適切に管理**されている必要があります。
- 多くの市民に利用され、多様なニーズに対応した公園としていくため、**民間等によるノウハウを活用することを検討**する必要があります。
- 施設の老朽化や、開発提供公園の増加により、公園の維持管理費の負担が増加しているため、**社会経済状況を踏まえた効率的な整備や維持管理を検討**していく必要があります。

【道路】

- 都市の美観の向上や道路環境の保全、歩行者などへの日陰を提供するために、**街路樹などの植栽帯については適切に管理**されている必要があります。

【公共施設】

- 公共施設は、市民の利用や交流に欠かせない施設であるとともに、緑化推進を図る上で核となる施設であることから、**施設と緑が調和した空間づくり**が必要です。

【民間施設】

- 商業施設等の民間施設は暮らしに潤いを与えるよう、**施設内緑地の整備などの緑化**が求められます。

【景観】

- 自然環境と調和した印西らしい景観の形成に向けて、**土地利用の誘導や市・市民・事業者が協力・連携して良好な景観の形成に取り組む**必要があります。

緑の担い手の育成における課題

【公園・道路】

- 地域の方が愛着の持てる公園や道路となるよう、**市民との協働による清掃や花壇づくり**を進める必要があります。

【市民活動】

- 緑豊かなまちづくりには、市民や事業者の協力が必要不可欠です。そのため、市民や事業者の活動が持続的に行われるよう**活動団体の課題に対応した市の支援**が求められます。